|  |  |
| --- | --- |
| JST使用欄 |  |

大学等知財基盤強化支援（権利化支援）発明概要　(申請の際は必ず記入し添付して下さい)

**※［Ctrl］キー＋［Shift］キー＋［(］キーを押して「編集記号の表示/非表示」を表示に切り替え、記入内容の説明文が表示された状態で記入して下さい。**

※本様式は、大学知財担当者に作成頂くことを想定しておりますので、必要に応じ、申請担当者に問い合わせをさせて頂きます。

申請の種類を選択して下さい

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請の種類 |  | PCT審査時のJST申請番号 | S201X-XXXX |

※ ２０１９年度から指定国移行の新規申請は申請対象外となっています。

申請案件の基礎出願番号（指定国移行申請の場合はPCT出願番号）を記載して下さい

|  |  |
| --- | --- |
| 基礎出願番号 |  |

※ 基礎出願が複数ある場合は、最初の基礎出願番号のみ記載して下さい。

１．発明の内容 要記入： PCT申請 再申請 継続申請

|  |  |
| --- | --- |
| 発明の内容  （この欄には発明の概略を記載して下さい（必須）） |  |

［SDGs（持続可能な開発目標）への貢献］　『SDGs持続可能な開発のための2030アジェンダ』で掲げられた世界的な17の目標への貢献について最大３つを選択して下さい 要記入： PCT申請 再申請 継続申請

|  |  |
| --- | --- |
| SDGsへの貢献(※) |  |
|  |
|  |

※目標の詳細、SDGsへの貢献に関するJSTの考え方については、以下のWebサイトを参照して下さい。

JST 持続可能な開発目標（SDGs）への科学技術イノベーションの貢献：<https://www.jst.go.jp/sdgs/index.html>

２．申請前調査結果

［発明者が出願前に発表した最も近似する技術］　最大4技術を記載して下さい 要記入： PCT申請 再申請

|  |  |
| --- | --- |
| 特許出願（出願日）、論文等（発表日） | 本発明との差異、本発明の優位性 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

［他者の公知技術・従来技術 調査結果］　重要なものから最大4技術を記載して下さい 要記入： PCT申請 再申請

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 特許出願（出願日）、文献等  (同一の技術・製造法等に関するものは、まとめて記載して下さい) | | 本発明との差異、本発明の優位性 | | |
|  | |  | | |
|  | |  | | |
|  | |  | | |
|  | |  | | |
| データベース： |  | | 検索期間： |  |
| キーワード： |  | | | |

[マネジメント強化支援の利用有無] 要記入： PCT申請 再申請 継続申請

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請前のマネジメント強化支援の利用の有無 |  | 担当した特許主任調査員名及び、JST管理番号（JST201x-xxx） |  |

※申請前に、JSTの特許主任調査員による戦略相談や発明相談等のマネジメント強化支援を受けた場合にご記入下さい。

３．有用性 要記入： PCT申請 再申請 継続申請

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 有用性  （発明の効果、実験データ等に基づいた想定される用途、従来技術・競合技術に対する優位性に言及して下さい。） |  | | | |
|  | 書ききれない場合や図面等を伴う説明資料がある場合は、自由様式で追加資料を別途添付して下さい。 | | | |
|  | 追加資料の有無 |  | 追加資料ファイル名 |  |

［応用分野］　有望なものから最大4分野を記載して下さい 要記入： PCT申請 再申請 継続申請

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主な具体的応用分野 | 開発の進捗 | 技術の完成度 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※ 開発の進捗については、特定企業とのライセンス交渉が進展し、具体的な製品開発が進んでいる場合は「展開中」、現段階では実施企業の候補がない場合は「想定段階」を選択して下さい。

４．外国出願の必要性、出願希望国とライセンス活動・市場規模等の状況 要記入： PCT申請 再申請 継続申請

|  |  |
| --- | --- |
| 外国出願の必要性  （国内出願のみでは不足し、国費の支援を受け外国出願を行うことの必要性） |  |

【活動が無い場合も必ず記入して下さい】

［指定国移行段階の申請］　支援を希望する上位５ヶ国（希望が５ヶ国に満たない場合は全ての国）について記載して下さい。また、実施許諾契約や共同研究契約等、技術移転活動が着実に進められていることを示す文書を添付して下さい。

［PCT出願前の申請］　基礎出願に対する活動について記入し、既に海外へ活動を開始した場合も適宜記入して下さい。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 希望順 | 国名 | 活動  状況  (※) | 契約企業又は、ライセンスの想定企業 | ライセンス計画・事業展開計画、予定時期、市場規模等 |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |
| 市場性調査の結果が有る場合は、調査結果について自由様式で追加資料を別途添付して下さい | | | | |
| 追加の市場性調査結果の有無 | |  | 別添資料ファイル名 |  |

※ 活動状況　　1:現に実施料等収入がある　2:ライセンス契約がある　3:特定企業と交渉中　4:不特定企業に活動中　5:活動していない

[本申請案件に関する特許出願・活用戦略及び技術移転計画] 要記入： PCT申請 再申請 継続申請

|  |  |
| --- | --- |
| 出願・活用戦略及び技術移転計画  （先願・後願との関係、実用化に向けた活動状況や今後の計画について、簡潔に記載して下さい。） |  |

審議資料のうち、申請機関が作成する当該申請に係る「知的財産出願・活用戦略及び技術移転計画」説明資料の要点を簡潔にご記入下さい。

５．国内出願後(またはＰＣＴ出願後)の研究・開発進展状況 要記入： PCT申請 再申請 継続申請

|  |  |
| --- | --- |
| 出願後の研究・開発の継続 |  |
| 出願後の成果 |  |
| 新たに取得されたデータ、実用化に向けた新展開等  (PCT出願前の申請では、国内優先権主張出願の予定の有無とその出願時期も記入して下さい) |  |
| 出願後の成果に基づくPCT出願／指定国移行手続き前の修正の有無 |  |

国内出願またはPCT出願を行ってから申請までの研究・開発成果の有無について記入して下さい。

また、出願後の成果に基づくPCT出願／指定国移行手続き前の修正の予定がある場合、「追加・修正あり」を選択し、「新たに取得されたデータ、実用化に向けた新展開等」欄で、その内容がわかるように記載して下さい。

６．JST等、他事業の利用希望 要記入： PCT申請 再申請 継続申請

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| JSTのJ-STOREへの掲載 |  | JSTが実施する他の大学支援事業等への情報提供 |  |
| 「大学発新産業創出プログラム」の公募情報の提供を希望する | |  | |

「希望する」を選択された場合、今後、他の支援事業担当者より本件に関するご案内をさせて頂く場合があります。

本項目の選択により他事業への応募・申請等を省略できるものではありませんので、ご注意下さい。

「大学発新産業創出プログラム」の概要はこちらをご覧下さい。　<https://www.jst.go.jp/start/>

７．その他 要記入： PCT申請 再申請 継続申請

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 他のJST公募事業・助成金利用の有無 |  | JST事業名 |  |
|  |  | 応募年度（西暦） | 年 |
|  |  | 採択状況 |  |
| 日本医療研究開発機構（AMED）  　公募事業・助成金利用の有無 |  | 事業名 |  |
|  |  | 採択年度（西暦） | 年 |
|  |  | 謝辞用課題番号 |  |
| 本発明をJST「知財譲受」に情報提供した場合(予定含む)、その状況を記載下さい。 |  | | |
| その他特記事項・アピール事項等 |  | | |

「他のJST公募事業・助成金利用の有無」は、研究開発・技術移転活動におけるJST事業の活用状況をご記入下さい。こちらは申請中あるいは採択されたものの情報をご記載下さい。不採択となった申請については記載する必要はありません。

「日本医療研究開発機構（AMED）公募事業・助成金利用の有無」は、当支援における知的財産審査委員会委員との利害関係の判断の為に事前にお伺いするものです。ご申請の発明に関連した課題が採択されている場合のみ左欄で“利用している”をお選びいただき、採択されている事業名、採択年度、AMED｢謝辞用課題番号｣をご記入下さい。

８．国際調査機関の否定的見解への対応 要記入： 再申請 継続申請

|  |  |
| --- | --- |
| 国際調査機関の見解 |  |
| 否定的見解への対応（国際予備審査請求） |  |
| 否定的見解への対応に関する補足 |  |
| 国際調査報告書 第Ⅷ欄「国際出願に対する意見」への対応(審査官の意見が付されている場合、対応について必ず記載下さい) |  |
| JSTによる調査・審査の進め方 |  |

否定的見解への対応についての詳細は、公募要領を参照して下さい。

９．基礎出願からの主な追加・修正事項 要記入： 再申請 継続申請

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| PCT出願における基礎出願からの追加・修正の有無 | |  | | | |
| 主な追加・修正事項　（必ずしも請求項単位ではなく、関連する事項はまとめて記載して構いません） | | | | | JSTコメントに基づく変更はチェック |
|  | | | | |  |
|  | | | | |  |
|  | | | | |  |
|  | | | | |  |
| 修正箇所が多い場合、又は複雑な場合などは、適宜、対比表等を追加資料として提出して下さい。 | | | | | |
| 追加資料の有無 |  | | 追加資料ファイル名 |  | |

指定国移行支援申請の段階からの再チャレンジ・継続申請において、PCT出願時に基礎出願の内容に追加・修正等を行った場合には「追加・修正あり」を選択し、主な追加・修正事項について記入して下さい。

１０．指定国移行『PCT出願支援審査時の条件とその対応』 要記入： 継続申請

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 指定国移行におけるPCT出願支援審査時の条件・要望事項の有無 | |  | | | |
| 条件・要望事項 | | | その対応 | | |
|  | | |  | | |
|  | | |  | | |
|  | | |  | | |
|  | | |  | | |
| 該当箇所が多い場合、又は複雑な場合などは、適宜、対比表等を追加資料として提出して下さい。 | | | | | |
| 追加資料の有無 |  | | | 追加資料ファイル名 |  |

PCT出願審査時の「条件」を満足していない場合、原則、継続移行審査は「支援しない」となりますので、継続支援の場合には必ずPCT出願審査時の「審議結果報告」 を確認して下さい。